

【件名】	新河岸川防潮堤耐震対策基本設計	【事務所名】	第四建設事務所
【施行場所】	東京都板橋区小豆沢四丁目地内から同区東坂下二丁目地内まで	【受託者名】	ジーアンドエスエンジニアリング株式会社
【工期】	令和5年1月16日から令和6年3月27日まで	【主たる技術者名】	主任技術者：小松 真一郎

## 【委託概要】

新河岸川の浮間橋上流から新河岸橋下流までの約1.3km区間において、防潮堤耐震対策事業における基本的事項の検討を行い、防潮堤耐震対策に向けた本体設計、施工計画等の検討を行う基本設計を実施したものである。既存構造物はRC特殊堤の逆T式護岸で、L2地震動における耐震性能照査を実施し、耐力不足となった箇所の補強を行うものであった。

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

本業務に必要な知識や経験を十分に有し、既の実施されている耐震対策事業の情報や他事務所で行われている耐震対策設計の情報を収集し、設計の考え方等を確認するなど目的を満足する検討を円滑に実施した。当該基本設計との整合性や相違点を抽出・整理し、必要な検討・資料作成を行うとともに発注者からの指示や確認にも丁寧かつ迅速に対応していた。

また、今後の地元調整や管理者協議を見据えたDXの活用にも積極的に取り組んでいた。



現況護岸



施工時（プラント配置計画）

## 【備考】



施工時の仮設状況図

施工計画において、DXを活用し、設計の可視化を図った。  
特に対策工法で必要となるプラントヤードの機材配置状況や、施工時の一般通行可能な仮設方法を3D化し打合せ協議や関係機関等の資料とした。